

都市再生整備計画 事後評価シート  
富士南地区

平成31年2月

静岡県富士市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	富士市	地区名	富士南地区			面積	590ha					
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	1,538百万円	国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(五貫島帯割2号線、五貫島地神1号線)、公園((仮)富士南公園)、河川((総合流域防災事業)上堀放水路)、地域生活基盤施設((地域防災施設)富士南中学校屋内運動場天井改修)、高次都市施設((地域交流センター)富士南まちづくりセンター)											
		提案事業	地域創造支援事業((河川改修)四ヶ郷用水路)、事業活用調査(事業効果分析調査)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設((地域防災施設)富士南中学校屋内運動場天井改修)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		提案事業	なし				—							
	新たに追加した事業	基幹事業	なし				—							
		提案事業	なし				—							
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	安全・便利に移動できるまちづくりの満足度	%	基準年度	29	H25	50	H30	モニタリング	評価値	36	△	あり	H32.2
				目標年度									なし	
	指標2	災害に対する安全・安心満足度	%	基準年度	33	H25	55	H30	モニタリング	評価値	54	△	あり	H32.2
目標年度												なし		
指標3	富士南まちづくりセンター等活用者数	人/年	基準年度	31,190	H24	34,000	H30	モニタリング	評価値	32,716	△	あり	H32.4	
			目標年度									なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	コミュニティバス「みなバス」運行事業	人/年	基準年度	13,777	H24			モニタリング	評価値	16,527		あり	H31.4
				目標年度									なし	
その他の数値指標2														
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	富士南地区まちづくり協議会 富士南まちづくりセンター建設委員会 (仮称)富士南公園ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						
	持続的なまちづくり体制の構築	富士南地区まちづくり協議会の設立		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						

## 様式2-2 地区の概要

### 富士南地区(静岡県富士市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:「地域拠点を中心とした安全で便利な市街地環境づくりを実施し、住み続けたいと思うまちづくりの実現を目指す」 小目標:①「産業の活性化と誰もが安全・便利に生活できる環境づくりが両立したまちづくり」 ②「地震や水害に強い安全に安心して住み続けられるまちづくり」 ③「地区まちづくりセンターを拠点としたいきがいとふれあひ・たすけあひのあるまちづくり」	安全・便利に移動できるまちづくりの満足度	単位: % 29 H25	50 H30	36 H30
	災害に対する安全・安心満足度	単位: % 33 H25	55 H30	54 H30
	富士南まちづくりセンター等活用者数	単位: 人/年 31,190 H24	34,000 H30	32,716 H30

#### ■河川(総合流域防災事業) 上堀放水路



#### ■高次都市施設 富士南まちづくりセンター



#### ■道路 車道拡幅 五貫島世帯割2号線



#### ■道路 車道拡幅 五貫島地神1号線



#### まちの課題の変化

- 五貫島世帯割2号線および五貫島地神1号線が車道拡幅整備され、安全性が向上した。
- 四ヶ郷用水路の断面を約3倍に拡大することや、富士川への放水路として、上堀放水路を新設することにより、水害対策が強化された。
- 富士南中学校の屋内運動場において、天井落下の危険性のある天井の撤去を行い、安全に避難できる環境を実現した。
- 富士南まちづくりセンターの移転に伴い、富士南地区の住民の意見を広く反映し、より充実した内容となるよう検討を行い建設したため、施設の集客力や魅力の向上に繋がり、より多くの利用が可能となった。
- 富士南まちづくりセンターは地区の災害対策本部となっているほか、非常用発電設備も備えている。
- 各拠点を結ぶコミュニティバスの運行によって公共交通利便性の向上を図っている。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 生活道路整備、コミュニティバスの利用改善により、今後も地元と協議しながら、より良い環境づくりを目指す。
- 河川改修による災害に強いまちづくりの実現を目指す。
- 「富士南まちづくりセンター」と「(仮)富士南公園」を一体利用することによって地域のまちづくり活動の活性化を図る。